

# 杉本議員が小木・直江津航路負担金、乳幼児医療費助成問題などで総括質疑

3月議会の2日目、日本共産党市議団の杉本敏宏団長は、新年度一般会計予算、副市長定数条例で総括質疑に立ちました。以下はその概要です。

【質問】教育費の構成比が10%を割り込んだが、教育重視の考えはないか。

【市長】平成19年度一般会計予算総額における教育費予算の構成比が、前年度比1.2ポイント減の9.6%となったが、構成比の変動は、予算総額に占める比率の変化や、学校施設、あるいは社会教育施設といった建設事業の実施状況などにも左右されるものと考えている。この度の主な減少要因も、城北中学校校舎改築事業の10億7千万円のほか、高志小学校校舎増築事業の1億7千万円など、大規模事業が18年度で終了したことによるもので、これらを合計すると1.7ポイント減となる。なお、平成19年度予算では、創意工夫をしながら教育環境の充実にも努めたところだ。

【質問】新潟県が新婦人や医師会などの働きかけをつけ、ようやく乳幼児医療費助成制度拡充の方針を打ち出した。これは当市にとって制度拡充のチャンスだ。乳幼児医療費助成をもっと拡充すべきではないか。

【市長】乳幼児医療費の助成につきましては、現在、入院の対象年齢は6歳就学前までであり、通院につきましては平成20年度までに6歳就学前まで拡充することを当面の目標として、平成17年度と18年度に1年齢ずつ引き上げ5歳まで拡充を図ってきたところだ。私としては、子育て支援策の中でも重要な施策であるとの認識から、目標を1年前倒しして、平成19年度に6歳就学前まで拡充し、子育て家庭の経済的支援とあわせて、子どもの疾病の早期発見と早期治療の促進を図ってまいりたいと考えている。ご質問の更なる拡充については、今後、県からの正式通知を受けて、当市におきましては、入院に係る医療費助成の対象年齢を10月1日から小学校卒業まで拡充してまいりたいと考えております。また、通院に係る医療費助成につきましては、1学年拡充することに多額の財源が必要となることから、引き続き県に対して制度拡大を強く働きかけるとともに、今後の財政状況も踏まえ検討したいと考えている。

【質問】小木・直江津航路に関する負担金6千万円は、「身の丈」を超えた負担ではないか。

【市長】小木・直江津航路安定運航事業負担金につきましては、国や県、佐渡市、佐渡汽船などの関係者からなる「小木直江津航路のあり方検討

会議」の合意事項に基づき、あくまでも航路の安定的な運営への取組みを支援するものであり、会社存続に向けた支援ではない事をまずはご理解願いたい。各自治体の負担額の根拠につきましては、何よりも航路運行の主体であります佐渡汽船株式会社が責任を果たす事を前提とし、その上で、航路を必要としております3自治体が、3者均等を基本としつつ、それぞれの航路への関わりや状況等を反映して、合意したものである。

この航路につきましては、県にとっては、県全体の観光振興や公共交通機関の確保、佐渡市にとっては、観光産業や島内産業、島民の利便性の確保など、そして、当市にとりましては、交通の要衝としての拠点性や交通ネットワークの確保、さらには広域観光ルートの確立など、三者それぞれ様々な面で欠かせないものだ。そのようなことから、今ほど申し上げました負担根拠により合意したところだ。

私は、100年以上の歴史を持つこの航路は、同時に国道350号にも指定される当市の貴重な財産であり、今ここで失うことは、将来に渡り大きな損失になるものと考え、なんとしても維持し、安定した航路運営が継続的に成り立つよう、当市の責任の範囲内で関係者と連携し公的支援を行うことを決断したものでありますので、なにとぞご理解をお願いいたします。

【質問】助役と副市長の違いをどう認識しているか。また、副市長2人の役割分担・権限はどうするのか。

【市長】現在の助役は長を補佐する役割を担っているのに対し、新たな副市長は、長を支えるトップマネジメント機能を担う最高補助機関として、長の方針及び判断の範囲内において、これまで長が担ってきた地方公共団体としての判断の一部を、自らの担任事項として処理できることが、大きな違いであると認識している。

行財政改革や住民自治の一層の推進を始め、厳しい地域間競争に勝ち抜いていくための魅力あふれる上越市のまちづくりに向け、私が示す方針の下、新たに委任する権限の範囲内において、より現場に近いところで迅速な政策判断を行うことができる、執行体制を強化することとしたものだ。このことにより、私自身も、これまで以上にトップセールスや現地・現場主義に徹することができ、ひいては、市長としての、的確かつ高度な政策判断や政治判断に資するものと考えている。



【スミレ】3月4日、吉川区にて撮影。雪でどうなったか心配です。

## 日本共産党上越市議団ニュース

84	2007年3月11日	
連絡先	杉本敏宏	524-3787 (東本町5)
	樋口良子	544-6802 (中門前3)
	橋爪法一	548-3628 (吉川区代石)
事務局長	上野公悦	530-2203 (頸城区中柳町)